鎖国（さこく）下の対外関係

ポイント1 四つの窓口

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

四つの窓口

“鎖国”体制下においても海外に向け四つの窓口が開かれていた

長崎（長崎県）	幕府の長崎奉行（ぶぎょう）が貿易を統制する **オランダ**・**中国**（明（みん）のち**清（しん）**）との窓口
対馬（つしま）（長崎県）	対馬藩宗氏を通じた**朝鮮（ちょうせん）**（李氏）との窓口
薩摩（さつま）（鹿児島県）	薩摩藩島津（しまづ）氏を通じた**琉球王国（りゅうきゅう）**（尚（しょう）氏）との窓口
松前（まつまえ）（北海道）	松前藩松前氏を通じた**蝦夷地（えぞち）**の**アイヌ**との窓口

ポイント2 オランダ・中国との交易

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

資料1 出島（長崎県）

① 幕府とオランダの貿易

オランダ商館が置かれた長崎の**出島（でじま）**で行われる

海外の情勢を幕府に報告することを義務付ける（オランダ風説書（ふうせつがき））

資料2 オランダ商館

② 幕府と中国の貿易

17世紀に明が滅亡（めつぼう）した後は，

唐人屋敷（とうじんやしき）が置かれた長崎で**清**と貿易を行う

海外の情勢を幕府に報告することを義務付ける（唐船（とうせん）風説書）

③ 貿易品

輸出	金・銀・銅・海産物・陶磁器（とうじき）など
輸入	生糸（きいと）・絹織物・砂糖・薬品など

ポイント3 朝鮮と琉球との交易

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 朝鮮との交流

対馬藩の**宗(そう)**氏(し)が，

豊臣秀吉の侵略で途絶えていた朝鮮との国交を回復

朝鮮通信使が将軍の代がわりごとに来日する

輸入	木綿・絹織物・生糸・朝鮮人参(にんじん)など
輸出	銀・銅など

資料3 朝鮮通信使

② 琉球との交流

1609年　琉球王国は**薩摩(さつま)**藩(はん)の**島津(しまづ)**氏に侵略されて事実上の支配下に入る

↓

琉球使節を江戸(えど)へ派遣

慶賀使(けいがし)：将軍の代がわりごとに派遣

謝恩使(しゃおんし)：琉球国王の代がわりごとに派遣

ポイント4 蝦夷地との交易と衝突

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 蝦夷地(えぞち)との交易と衝突

南部の渡島半島に進出した**松前(まつまえ)**藩(はん)の**松前**氏がアイヌとの交易を独占

移入	海産物（さけ・にしん・こんぶなど）・毛皮など
移出	米・木綿・鉄製品など

② 1669年　シャクシャインの戦い

和人に有利な交易に不満を持ったアイヌが，

首長の＿＿シャクシャイン＿＿を中心に立ち上がる

↓

松前藩などに敗れ，アイヌへの支配は強くなる

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) オランダの商館があった長崎県の人工島を何というか。　出島

(2) 17世紀，中国で明が滅亡した後にできた王朝を何というか。　清

(3) 江戸幕府の将軍の代がわりごとに朝鮮から来日した使節を何というか。　朝鮮通信使

(4) 1609年に琉球王国を破り事実上の支配下にしたのは何氏か。　島津氏

(5) 17世紀，蝦夷地で和人に有利な交易に不満を持ったアイヌの人々と松前藩の戦いを主導した人物は誰か。　シャクシャイン